

2015年度の政務活動費使用状況について

2016年5月25日 日本共産党品川区議団幹事長 飯沼雅子

1. 政務活動費の概要

日本共産党品川区議団は、2015年度の政務活動費について総額1463万円の支給を受け、1245万6906円を使用し、残高217万3094円を返却しました。概要は、以下の通りです。

①調査研究費	26万8422円(2.2%)	②研修費	65万6241円(5.3%)
③会議費	5万4198円(0.4%)	④資料費	96万7245円(7.8%)
⑤広報・活動費	471万5747円(37.9%)	⑥事務費	204万6411円(16.4%)
⑦人件費	374万8642円(30.1%)		

2. 政務活動費の各支出別における主な内容

- ① 調査研究費は、品川区内を低空飛行する羽田増便新飛行ルートについて、住民生活への被害実態を調査研究するため、同様に市街地を通過する伊丹空港周辺を視察し、騒音や落下物など実態の聞き取り調査などを行う。その他、議会改革について先行する八王子市議会と羽村市議会への視察及び区民の声を集めるアンケート返信用封筒代に充てる。
- ② 研修費は、品川区政の分析を行うため自治体問題を全国規模で調査し発表を行っている自治体学校への参加や区政分析及び一般質問、区議会報告を作成するため議員団合宿を実施する。その他、保育行政について、全国保育団体合同研究集会に参加する。
- ③ 会議費は、区民の意見を聴取するため区政報告会や各種住民団体から要望を聞く懇談会の会場費と要点筆記及び手話通訳の人件費に充てる。
- ④ 資料費は、区議団控室のコピー代や各種書籍、定期雑誌、新聞代などに充てる。
- ⑤ 広報活動費は、活動内容や区政の特徴を住民に伝え区民意見や要望を聴取するために、日本共産党品川区議会報告や壁新聞、各区議のニュースの発行や区政報告会、議会傍聴の案内チラシの発行、控え室のコピー、印刷の紙代に充てる。
- ⑥ 事務費は、区議団ホームページ更新料の他、シュレッター、コピー機、パソコンなどリース代、印刷機のインクやマスター代、パソコンのウイルスソフトなど購入代に充てる。
- ⑦ 人件費は、政務活動の補助として区議控室に専任事務局員1名に充てる。

3. 政務活動費の主な特徴

2015年度は4月の品川区議会議員選挙で共産党区議団が5名から7名へ議席増を果たし、この力で本会議の一般質問や予算・決算委員会での質問時間及び質問テーマを大きく広げ、多様な区民要望を議会の質問で取り上げ、住民福祉の向上へ区政を動かしました。

政務活動費の使用にあたっては、運用指針を厳格に順守することと共に、常に住民目線でチェックし節約に努めながら、これら政務活動に必要な人件費や事務費、区議会報告の発行、基礎調査のための資料購入や視察、研修、住民要望の聞き取りなどに力を入れました。今後とも、住民が主人公の地方自治の発展に力を注ぎます。